

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公開番号】特開 2019-20670 (P2019-20670A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2017-141455 (P2017-141455)

【国際特許分類】

G 0 9 B 9/00 (2006.01)

B 2 5 J 9/22 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 9/00 Z

B 2 5 J 9/22 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 1 日 (2020.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熟練者の属性に関するデータを取得するための熟練者属性データ取得手段と、
熟練者の動作データを取得するための動作データ取得手段と、
取得した動作データを、熟練者の属性に関するデータと関連付けて記憶するための動作データ記憶手段と、

学習者の属性に関するデータを取得するための学習者属性データ取得手段と、
熟練者の属性と学習者の属性との差違に基づいて、記憶した動作データを学習者の属性に合わせて補正するための動作データ補正手段と、

補正した動作データに基づいて、学習者に熟練者の動作を再現させるための動作再現手段と、

を備えたことを特徴とする熟練動作教示システム。

【請求項 2】

前記動作データ取得手段は、それぞれ属性に関するデータが異なる複数の熟練者から動作データをそれぞれ取得し、

前記動作データ補正手段は、複数の動作データの中から学習者の属性に関するデータに合致又は近似した動作データを選択することにより補正を行う、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の熟練動作教示システム。

【請求項 3】

前記動作データ取得手段が取得する動作データは、熟練者の動作に関する三次元データと時間データとを組み合わせ作成する、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の熟練動作教示システム。

【請求項 4】

前記動作再現手段は、補正した動作データに基づいて、学習者の動作を許容又は制限する、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の熟練動作教示システム。

【請求項 5】

前記動作データ取得手段が取得する動作データは、熟練者が動作した際の筋電情報とし

、

前記動作再現手段は、学習者の筋肉に動作データを直接入力して熟練者の動作を再現させる、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の熟練動作教示システム。

【請求項 6】

前記学習者は、ロボットである、

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の熟練動作教示システム。